

読書の家から

新刊案内



今月の1冊



「おばけの
てんぷら」
せなけいこ著

てんぷら大好きのうさこちゃんおいしいてんぷら揚げようと…。そこへおばけくんが匂いにさそわれやってきて…なにがおこるのかな?作者独特の貼り絵の手法で描かれています。紙の持つやわらかい手触りと温かさが画面から伝わってくる楽しい絵本です。



■開館時間	10時～18時（7月～9月まで）
●9月休館日	10日・17日・21日・22日・23日・24日・10月1日・8日
（毎週木曜日・祝祭日休館）	
あぶたみ	76-2100

75-4702

■あぶた読書の家

△一般▽いのちが喜ぶ生き方（矢作直樹）▽銀翼のイ

カロス（池井戸潤）▽福も来た（群ようこ）▽風花帖（葉室鱗）▽六花落（西條奈加）▽峠しぐれ（葉室鱗）▽余命1年のスタリオン（石田衣良）▽ジヨン・マン5立志編（山本一力）▽火花（又吉直樹）

△花や散るらん（葉室鱗）▽一〇三歳になつてわかつたこと

（篠田桃紅）▽ベトナムの桜（早岩弓枝）▽本を読む女（林真理子）▽ジヴエルニーの食卓（原田マハ）▽長いお別れ（中島京子）▽確証（今野敏）▽秋山祐徳太子の母（秋山祐徳太子）▽お父さん

クマのブーさん全集（おはなしと詩（A・A・ミルン/E・H・シェペード）▽子ども

△児童書▽なぞかけどうじょう（中川ひろたか）▽大島妙子）▽どん！（西村敏雄）▽

の石けん箱（田岡由伎）▽太陽は気を失う（乙川優三郎）▽出世花（高田郁）▽強襲

話366（監修・尾木直樹）

■みずうみ読書の家

△一般▽意次ノ妄（佐伯泰英）▽火花（又吉直樹）▽

花や散るらん（葉室鱗）▽一

〇三歳になつてわかつたこと

（篠田桃紅）▽ベトナムの桜（早岩弓枝）▽本を読む女（林真理子）▽ジヴエルニーの食卓（原田マハ）▽長いお別れ（中島京子）▽確証（今野敏）▽秋山祐徳太子の母（秋山祐徳太子）▽お父さん

クマのブーさん全集（おはなしと詩（A・A・ミルン/E・H・シェペード）▽子ども

△児童書▽なぞかけどうじょう（中川ひろたか）▽大島妙子）▽どん！（西村敏雄）▽

の石けん箱（田岡由伎）▽太陽は気を失う（乙川優三郎）▽出世花（高田郁）▽強襲

ピノキオ読み聞かせ会

■日 時 10月7日 14時30分

■場 所 あぶた読書の家

俳句【あぶた俳句会】八月定例会

青時雨止みて湯気立つ牧の馬

矢野 知子

一つ道帰へる農夫に夕の虹

菅原 敏子

放水の虹清すがし切なさも

那須 伶子

甲子園今ヒーローの生まれる日

三瓶 修

この夏はオゾン破れて荒れる様

小笠原 千葉

哲人のやうな顔出す夏蛙

征子 勇

夏の海子等の飛沫に日矢折るる

佐藤 美風

■洞爺総合センター図書室

△一般▽生き残った者（上橋菜穂子）▽還つて行く者（上橋菜穂子）▽火花（又吉直樹）▽異邦人（いりびと（原田マハ）▽狗賓童子の島（飯嶋和一）

炎天の砂利道ふめばでこぼこと吾にきびしき明日へのいのち

北島 加代 大西 芳子

大学のパンフレットが日に三通どこで知つたか孫あて届く

太田 智 元田 フジ子

猛暑の中汗をふきふき見渡せば木槿咲き出し秋の趣

矢野 知子

短歌【あぶた短歌会】八月定例会

草取りをやめ突然息子は病院へ体のいたみは虫のせいだと

山木 孝 敏

わたしのうた



（笛本稜平▽勁草（黒川博行）▽共生の「くに」を目指して（赤堀芳和）▽野生のゴリラと再会する（山極寿一）

▽地球を突き動かす超巨大火山（佐野貴司）▽豹変（今野敏）